

専門職からの
アドバイス!

理学療法士(PT)
言語聴覚士(ST)による機能訓練

今回は... ★ 『慢性硬膜下血腫』について ★

皆さんは、“頭をぶつけてしまったとき”や、“転んで頭を打ってしまったとき”に、しっかりと病院受診されているでしょうか？

頭部を打撲した場合、わずかな衝撃であっても、
のちのちに意識障害や運動麻痺などの症状が出現することがあるのです。
頭蓋内に異常(多くは出血)が出現するのは、多くは受傷直後ですが、
遅れて起こってくる病気もあります。

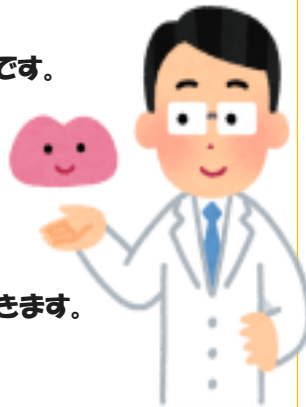
その中で最も多いのが「慢性硬膜下血腫」です。

「慢性硬膜下血腫」の症状とは。。

頭に衝撃を受けたことがきっかけで、脳の血管から出血し、
脳を覆っている硬い膜 と 脳の間 に 徐々に血液が溜まっていきます。

その血液が脳を圧迫することで 脳の機能が低下してしまい、
[歩行能力の低下・認知障害(物忘れ)、トイレの失敗(尿失禁)]などの
(認知症とよく似た)症状が出現するのが特徴です。

頭に衝撃を受けてから徐々に血液が溜まっていくため、
初めから大きな症状が出ることは少なく、3週間以上経ってから症状が出現します。



~12月の予定~

- ◎クリスマス会 & 25日(火)
- ◎ビンゴ大会



くも膜下出血などの場合には、突然の激しい頭痛が起こり、嘔吐や痙攣、意識障害が
すぐに出現するため、慢性硬膜下血腫と区別することができます。

心掛 け が 大 切 !

すぐに異常な症状が出現するときには、
皆さんも病院に行こうと思いがちですが、“少しぶつけたぐらいでは”と病院に
行くことをためらってしまうこともあるかと思いますが、
後々に症状が出現することもあるため、少しぶつけたぐらいだからと思わずに、
直ちに受診をすることが大切です。

慢性硬膜下血腫は、高齢者やアルコール多飲者に多くみられます。
ぶつけてしまったことを覚えていないことも多いため、本人の訴えだけでなく、
日頃から身の回りの人が様子を確認することも大事です。
速めの受診が二次的な怪我・病気を予防することができます。

特に、血液が脳を圧迫することによって認知症状が起きているため、
適切な治療をすることによって、症状の改善がみられます。

これは治る認知症と呼ばれています。

わずかな衝撃から じわじわと症状が出現していくため、早期発見と早期受診が
重要になります!